

FOR IMMEDIATE RELEASE

FXCM、マッチングエンジンをエクイニクスの東京 IBX データセンターにて本格稼働

金融サービスのリーダーが、リクイディティエー・プロバイダーと FX プラットフォームに隣接

東京-2013年11月15日-インターコネクションおよびデータセンターサービスをグローバルに展開するエクイニクス(Nasdaq: EQIX、日本法人代表取締役 古田敬、以下エクイニクス)は、FX オンライン取引を世界規模で提供する **FXCM Inc.** (NYSE: FXCM、日本法人代表取締役社長: 飯田和則、以下 FXCM) がエクイニクスの東京の **IBX®** データセンター (TY3) において、2番目のグローバルマッチングエンジンのサーバー全面稼働を開始した事を発表します。アジアにおける FX 電子取引の重要なハブである東京への拡張により、アジア全体の利用者にたいして早く、そして快適な取引環境を提供する事が出来る様になりました。FXCM、クレディスイスグループと BNY Mellon のジョイントベンチャーである外貨取引の超高速マッチングエンジンである FastMatch も、2014 年初頭から同 TY3 における本格運用を予定しております。

発表のハイライト

- 2013 年の第3四半期終了時の FXCM の稼働取引アカウント数は 188,000 件でした。国際決済銀行 (**Bank for International Settlements**) によると日本はアジアにおける FX 取引高の上位2位を占めており、日本円による取引高は 2010 年から 2013 年にかけて 63%も飛躍しており、主な取引通貨の中でも最高の伸び率です。
- アジアにおける利用顧客の増加と FX 取引額の増加に伴い、FXCM はエクイニクスの安全性と信頼性の高いデータセンターを利用する事で、トレーダーに対してより強力な取引環境を実現した。2009 年にニューヨークのエクイニクスの IBX データセンターで設備を稼働して以来、その成果と信頼性に基づき、今回の TY3 データセンターにおける設備稼働を開始しました。
- エクイニクスの TY3 IBX データセンターは東京の都心部に位置しており、FXCM は日本の主要な金融取引拠点だけでなく、増え続ける FX を含むクロスアセット取引実行戦略を持つリクイディティエー・プロバイダーや機関投資家にも近くなります。地理的にも近く、またグローバルでは 950 を超え、地域だけでも数多くのネットワークを選択出来る事から、FXCM はネットワークによる遅延を 95%改善することで、トレーダーへ向けたより競争力のある取引環境を提供出来る様になりました。
- 外貨取引の超高速マッチングエンジンである FastMatch も、2014 年初頭から同 TY3 における本格運用を予定しております。FastMatch が TY3 をインフラ拠点として展開する事により、日本だけでなくアジア・パシフィック地域のトレーダーは比類の無い速度で、リアルタイムの注文執行環境と多数のリクイディティエー・プロバイダーにアクセスすることが可能となります。

コメント

- FXCM ジャパン証券 日本代表取締役社長 飯田 和則氏のコメント**
「我々がマッチングエンジンをエクイニクスの東京にある IBX データセンターへ拡張した事は、FXCM が今後の日本の FX 取引市場における事業拡大とマーケットリーダーとなる為の戦略的な展開と言えます。我々にとってリクイディティエー・プロバイダーとの距離が縮まる事と、エクイニクスの金融エコ・システム内における FX 取引環境は、高速で安定したオンライン取引環境をアジア・パシフィックのトレーダーの方々に提供する為に重要な事です。現在、日本国内のアカウントをお持ちのトレーダーのお客様の取引環境が、東京のシステムで提供されている事を大変嬉しく思います。」

• **エクイニクス アジア・パシフィック 金融サービスおよびエンタープライズ シニアディレクター David Wilkinson のコメント**

「私達はこれまで何年にも渡って、日本における金融サービス企業からのデータセンターサービスに対する数多くの需要に応じて参りました。エクイニクスの TY3 IBX データセンターは、多数の接続回線の選択肢があるだけでなく、幅広いお客様、ビジネスパートナーやサービスパートナーといった当社の金融系のお客様を支える企業との相互接続も可能な環境を提供しております。FXCM の 2 番目のグローバルマッチングエンジンの展開は、エクイニクスのプレミアム・データセンターサービスの提供力を示すだけでなく、エクイニクスのグローバルな金融エコ・システムをも強化するでしょう。」

FXCM Inc. について

FXCM (NYSE:FXCM) は NY 証券取引所に上場しており、個人および法人機関向け FX のオンライン取引サービスを世界的に展開しています。

FXCM グループはその初期の段階から日本を非常に重要な市場と位置付け、日本では FXCM ジャパン証券株式会社が 2001 年よりサービスを展開しており、日本において FX を提供する会社のなかで最も長い歴史をもつ金融法人の一つです。FXCM グループは常に最先端のテクノロジーを追求し、お客様には公平で透明性のある取引環境を、安心してご利用いただくことを目指しています。FXCM および FXCM ジャパン証券の詳細情報は www.fxcm.co.jp をご覧ください。

Equinix について

Equinix, Inc. (Nasdaq: EQIX) は、世界で最もネットワーク密度の高いデータセンターにおいて、4,400 社以上の顧客企業、ならびにパートナー企業との間で、相互接続できる環境を提供しております。現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋における 31 の戦略的都市において、世界の様々な企業に Equinix のインターコネクションプラットフォームを活用していただいています。詳細は、www.equinix.co.jp をご覧ください。

将来の見通しに関する記述について

本ニュース・リリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、IBX センターの取得、運営および建設上の問題、Equinix のサービスに関する開発、設置、および提供上の問題、既に入収しており、または今後買収する予定の企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、新たに開設ないし取得したデータセンターにおける顧客からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の実行の遅延、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュ・フロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要顧客とのビジネスにおける損失あるいは減退、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc. が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください(ご要望に応じ、Equinix, Inc. より入手可能です)。エクイニクスは、このニュース・リリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

Equinix および IBX は、Equinix, Inc. の登録商標です。International Business Exchange は、Equinix, Inc. の商標です。

###

本件に関するお問い合わせ先

エクイニクス・ジャパン株式会社
マーケティング 武堂貴宏
TEL: 03-6402-6925
Email: tbudo@ap.equinix.com

株式会社トウキョウ ブランディング シーメディア
海藤 みどり
TEL: 090-9309-6125
Email: mkaito@tokyobcm.jp

